

## 校長室から



## 夏休み、「角山夏祭り」開催

周囲の学区では次々に夏祭りが中止になるなか、本学区では8月13日（土）に開催されました。

今回、角山コミュニティ協議会では開催するのか中止にするのかを6月と7月に2回にわたって検討してきました。7月になってコロナ感染者の数が増えている中での判断でしたので、委員の意見は半々に分かれていました。

そして一人の方が、「2年間中止してきて、それでは子どもたちの夏の楽しい思い出がなくなってしまう。大人はなくてもよいが、子どもたちに楽しい思い出をつくらせたい」という発言をされ、一気に子ども中心の祭りに内容を変えて開催しようということに決まりました。

当日はコロナ感染に注意して、PTAの方が知恵を絞り、ゲームや花火、踊りやビンゴなど子どもたちが楽しめる祭りになりました。

子どもたちを地域の中心において考えてくださる地域の方々の熱い思いと周到な計画をつくり感染者が出なかったことに、感謝しています。

## 自分の力を振り返る

2学期になって教室を見回っていた時のことです。

6年生の児童が一人ずつ教室の廊下で担任と一枚の紙を真ん中にして、向かい合って座っています。

担任の先生が児童に話しかけているのに対し、児童はうなずいたり、答えたりしているのです。

何の話をしているのかと近づいてみると、6年生がこの4月に受けた全国学力・学習状況調査の結果を返しながら、その内容について話し合っているのです。

全国学力・学習状況調査の結果からは、全国にいる同じ6年生が解いた問題の正答数や正答率、それだけでなく同じ6年生と比較した日頃の生活状況までわかり、自分の強み・弱みを知ることができるのです。

児童は自分の個人票や問題用紙を見ながら、できていること、できていないところをつかみ、今後の学習や生活で力を入れていくところを見つけます。

このように振り返りを繰り返していくと、考えて生活をつくっていく力がついてきます。主体的に考えている子がそこにいました。

